



グローバル情報技術で笑顔を創る
株式会社 SYSホールディングス

2026年7月期 決算説明

2026年9月15日
(銘柄コード：3988)

決算概要

…p.3～10

- ・ 前期比 ・ 予想と実績の比較 ・ 売上構成比の変化
- ・ 中長期投資と営業利益率の推移

トピックス

…p.11～21

- ・ M&Aの実績 ・ M&A後の業績比較 ・ 経営の多様性
- ・ 若手女性社員の活躍 ・ シニア社員の活躍 ・ 多様性と働き方改革
- ・ 従業員エンゲージメント・中部事業所移転 ・ CSR活動

業績予想

…p.22～29

- ・ 連結業績予想（通期）・ 新中期経営計画における連結係数の目標と実績
- ・ 世界情勢による業績への影響 ・ 予算未達に対する対策
- ・ ソリューション別売上高推移（予想） ・ 国内地域別売上高推移（予想）

今後の展開

…p.30～38

- ・ グローバル製造業事業領域 ・ 社会情報インフラ事業領域
- ・ 案件のご紹介 ・ 教育事業 ・ 国内採用人数 実績と計画
- ・ 配当政策 ・ 当社グループが目指すもの



2026年7月期 決算概要

既存事業が成長し13期連続増収8期連続増益



単位：百万円

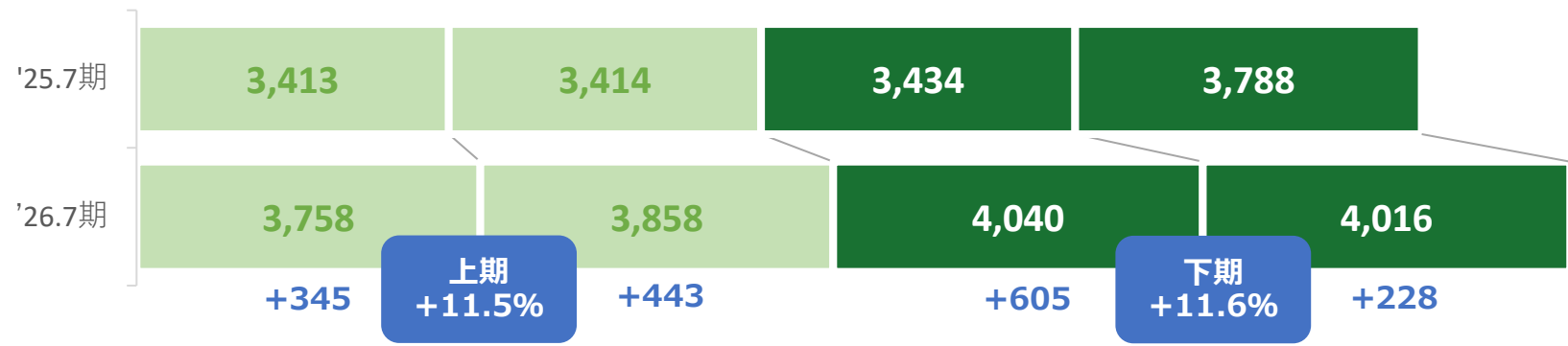
	'25.7期	'26.7期	増減額	増減率
売上高	14,051	15,673	1,622	11.5%
営業利益	705	797	92	13.1%
営業利益率	5.0%	5.1%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	423	548	125	29.5%



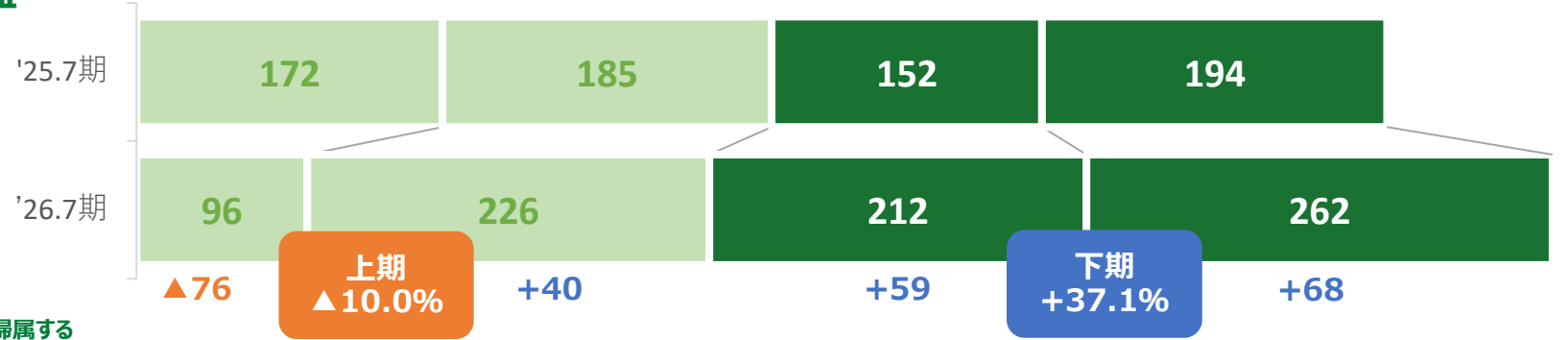
既存事業が成長し増収 営業利益は1Qの減益を2Q以降で回復

単位：百万円

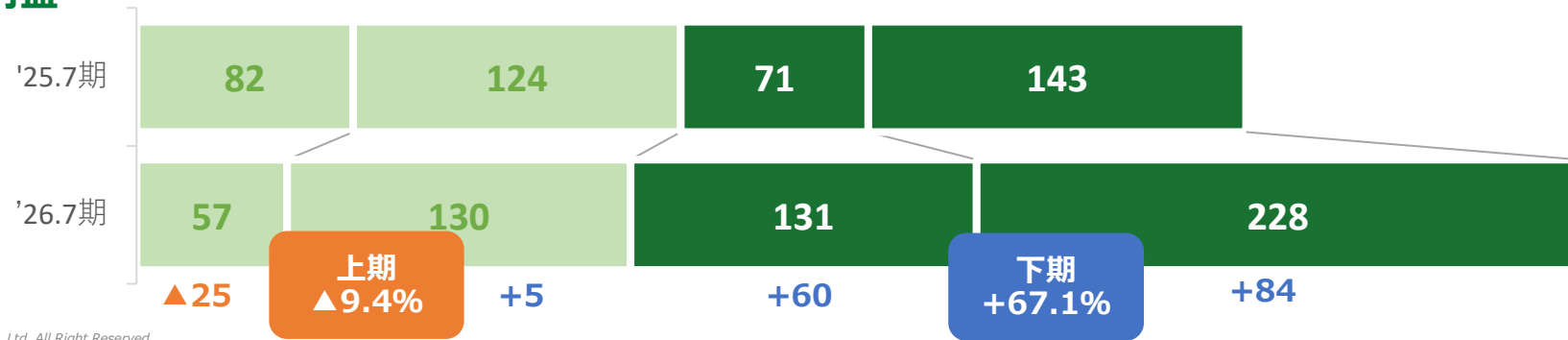
売上高



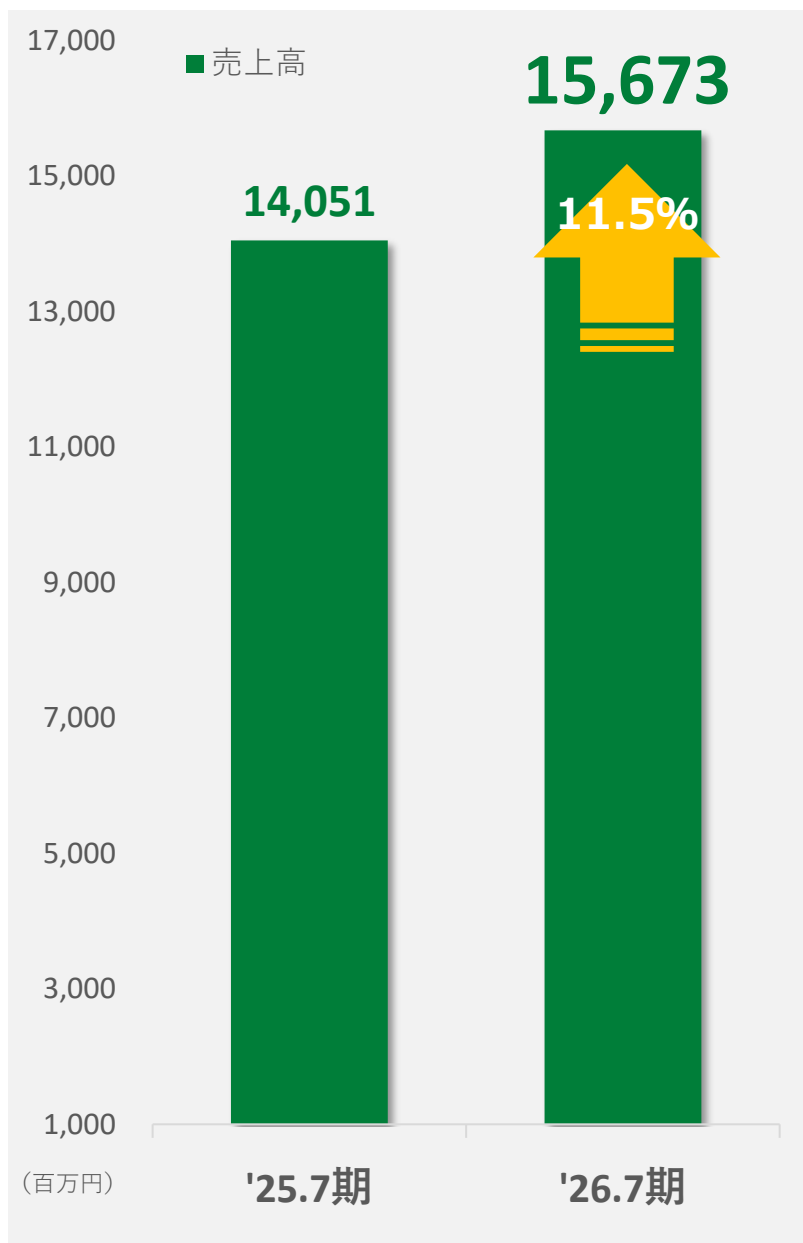
営業利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



既存事業の成長とM&Aにより増収



✓既存事業の成長

前期までに成約したM&Aを含み、既存事業で順調な成長。

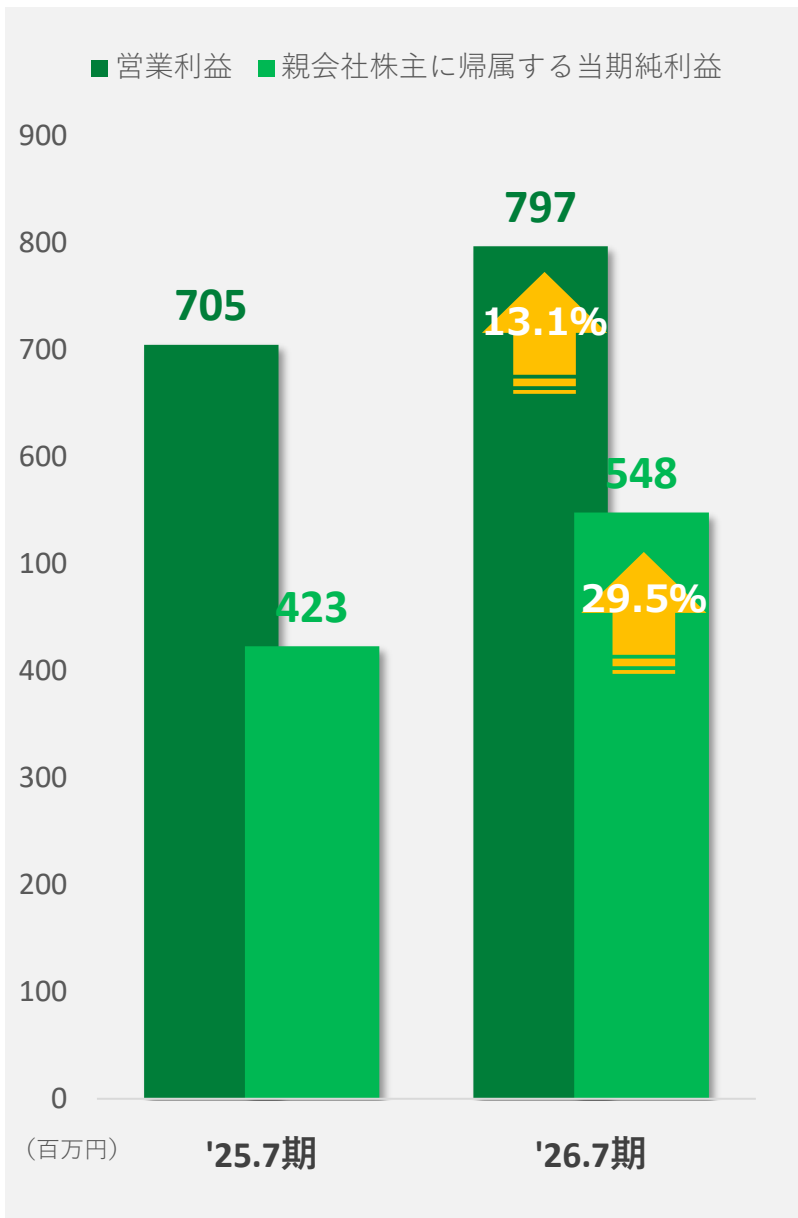
✓M&Aによる事業拡大

前期成約したサンライジングコーポレーションは、約97百万円の貢献。

✓DX需要の継続

幅広い業種の需要拡大と、インボイス制度等に後押しされた旺盛なソフトウェア投資が継続。

下期増益するも、上期の減益を挽回できず



■減少要因

- ✓採用計画未達・退職者の増加
社員総数は期末でなんとか純減を回避
- ✓赤字プロジェクト16件約96百万円
新規プロジェクトの売上獲得にも影響
- ✓事業会社7社の業績不振
前期比 144百万円減
予算比 54百万円減
- ✓BP様調達計画の未達
BP様においても退職が増加

■増加要因

- ✓既存事業の売上高の増加
- ✓受注単価の向上
- ✓採用基準見直しによる早期稼働

ここ10年で初の総稼働数の減少
→より高付加価値の事業へ

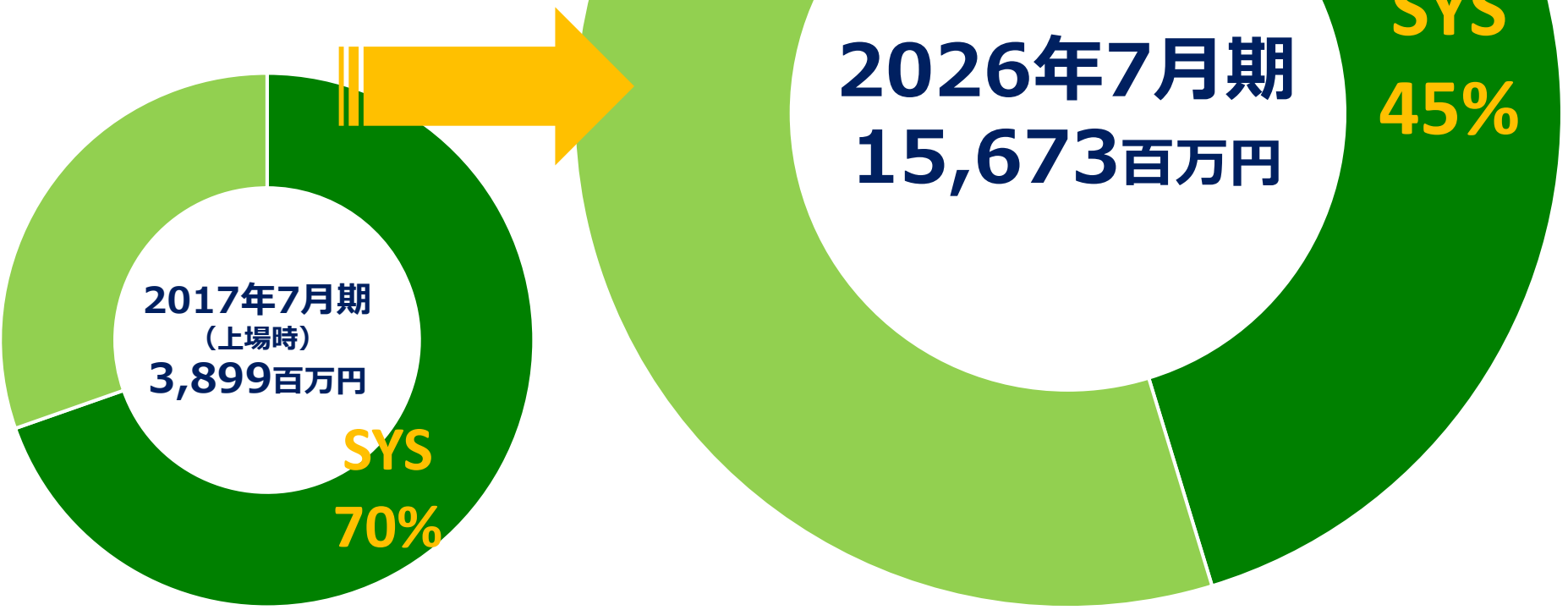


単位：百万円

	期初予想	実績	差額	差額率
売上高	16,850	15,673	▲1,176	▲7.0%
営業利益	1,044	797	▲246	▲23.6%
営業利益率	6.2%	5.1%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	604	548	▲56	▲9.3%

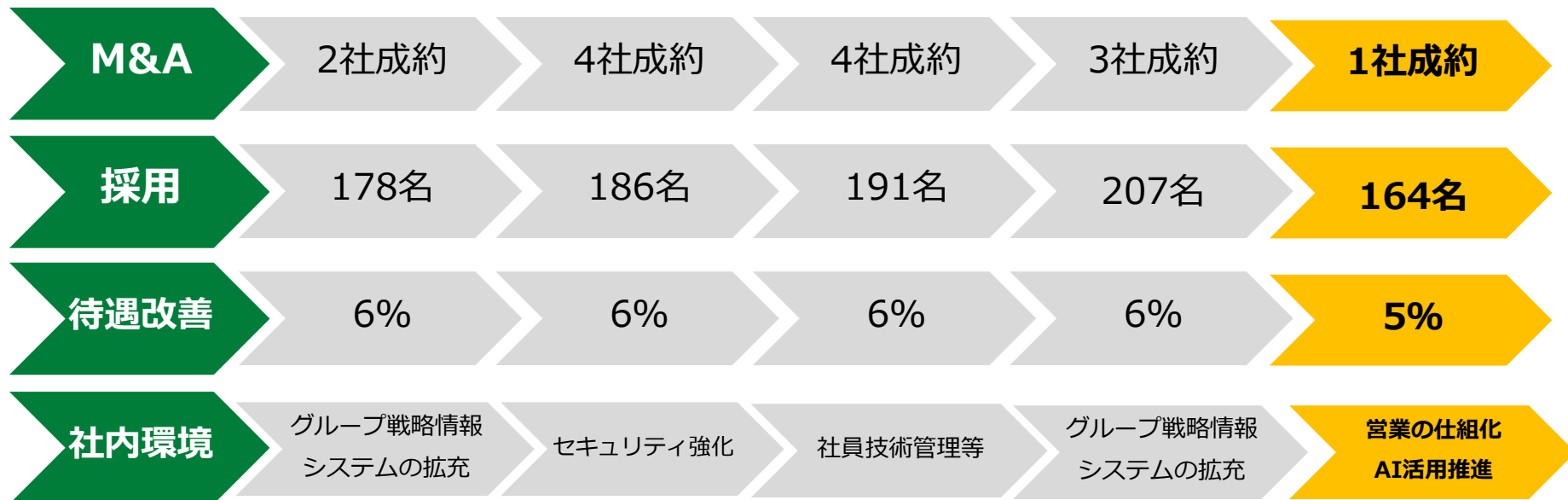
【参考】 上場時からの成長率
('17.7期 対 '26.7通期)

売上高 : 301.9%増
営業利益 : 267.5%増
親会社株主に帰属する
当期純利益 : 236.3%増



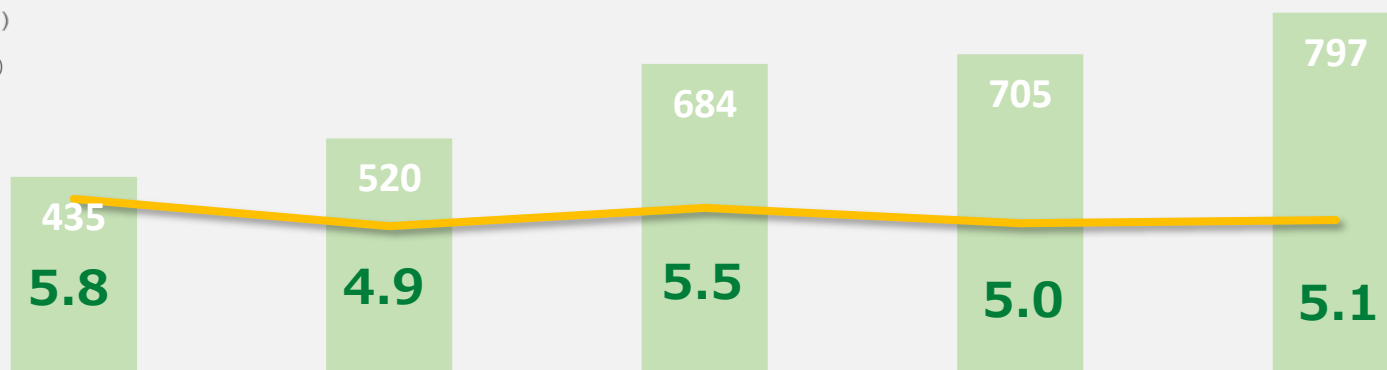
『人材投資・雇用環境・M&A』への 効果的な投資を積極的に進めていく

2022年7月期 2023年7月期 2024年7月期 2025年7月期 2026年7月期



▶ 中長期投資の効果

営業利益 (百万円)
営業利益率 (%)





2026年7月期 トピックス

Global IT
For
Your
Smile

M&A26社目 株式会社サンライジングコーポレーション 2026年2月2日全株式を取得し子会社化



▲
(株)サンライジングコーポレーション
代表取締役社長執行役員 加藤真悟

▲
当社 代表取締役会長兼社長
鈴木裕紀

▲
(株)サンライジングコーポレーション
顧問 彌永正徳

- ・ 設立 : 1999年10月
- ・ 所在地 : 愛知県名古屋市東区
- ・ 事業内容 : コンピュータシステムの開発、販売、運用
- ・ 売上高 : 204百万円※2025年9月期

これまでのM&A26社 すべて成功

※下記の表に記載がないものも含む

社名	グループ 加入月	グループ加入前/事業開始時 (百万円) (注2)	
		売上高	営業利益
(株)SYI	'11.2設立	143	9
(株)エス・ケイ	'12.5取得	233	2
株グローバル・インフォメーション・テクノロジー	'13.7設立	56	△ 3
(株)総合システムリサーチ (株アダムアップを含む)	'13.11取得	595	△ 7
(株)テクノフュージョン	'17.11取得	91	△ 20
(株)オルグ (マグナシステム株、SUNシステムズ株含む)	'18.4取得	295	8
KEEL(株) (ネットパーク21株含む)	'19.5取得	171	5
株マスターズソリューション (事業譲受)	'19.8譲受	117	15
(株)レゾナント・コミュニケーションズ	'21.5取得	189	16
(株)スレッドアンドハーフ	'21.11取得	180	△ 1
マグナシステム(株)	'22.5取得	101	13
(株)ネットパーク21	'22.11譲受	451	5



'26年7月期 (百万円) (注1)				
売上高	営業利益	備考1	のれん 償却額等	のれん等 残高
412	12	増収増益	—	—
285	29	増収増益	—	—
640	29	増収増益	—	—
1,578	105	増収増益	—	—
317	6	増収増益	2	—
780	27	増収増益	7	5
799	37	増収増益	—	—
153	6	増収	4	—
404	15	増収	8	32
220	22	増収増益	1	0
—	—	(株)オルグに 吸収合併	2	2
—	—	KEEL(株)に 吸収合併	9	38

- (注) 1. すべて監査法人による監査を受けていない参考数値又は、社内管理数値です。
適切な会計処理が行われていない場合があります。のれん償却等には、顧客関連資産の償却、減損損失を含んでおります。
2. (株)エス・ケイは'11.8期、(株)SYIは'12.7期、(株)総合システムリサーチは'13.9期、(株)グローバル・インフォメーション・テクノロジーは'15.7期、(株)テクノフュージョンは'17.5期、(株)オルグは'18.3期、サイバーネックス(株)は'19.3期、(株)レゾナント・コミュニケーションズは'21.3期で、(株)スレッドアンドハーフは'20.12期、マグナシステム(株)は'21.3期で、法人税確定申告書等より転記しております。(株)アットワン、(株)マスターズソリューションは事業譲受後1年目の'20.7期の社内管理数値です。(株)アットワンは、(株)エスワイシステムへ事業譲受され、のれんの償却を完了したため記載を省略しています。

2025年7月期までに参入した子会社は すべて増収見込

社名	グループ 加入月	グループ加入前/事業開始時 (百万円) (注2)	
		売上高	営業利益
つくばソフトウェアエンジニアリング(株)	'22.11譲受	364	50
THAI SOFTWARE ENGINEERING CO.,LTD	'22.11譲受	178	10
(株)アシック (株)エスワイシステムに吸収合併)	'22.11譲受	193	10
(株)アイガ	'22.11譲受	953	△ 11
シー・アイ・システム(株)	'24.2譲受	126	29
(株)マリオン	'24.3譲受	266	3
(株)アダムアップ	'24.8譲受	138	10
(株)SUNシステムズ	'24.8譲受	33	4
(株)ラーカイルム	'25.5譲受	348	—
(株)HTC	'25.5譲受	344	17
(株)アイビーシステム	'25.8譲受	484	19
(株)サンライジングコーポレーション	'26.2譲受	204	△ 7



'26年7月期 (注1)				
売上高	営業利益	備考1	のれん 償却額等	のれん等 残高
471	53	増収増益	35	163
263	△ 1	増収	—	—
22	14	増益	13	42
1,450	104	増収増益	32	72
—	—	増収増益	1	5
281	8	増収増益	10	60
—	—	(株)総合システムリ サーチに吸収合併	7	29
—	—	(株)オルグに 吸収合併	2	10
377	3	増収	6	42
357	28	増収増益	10	48
351	14		7	14
97	14	6か月	3	40
合計 (前頁含む)			165	609

- (注) 1. すべて監査法人による監査を受けていない参考数値又は、社内管理数値です。
適切な会計処理が行われていない場合があります。のれん等には顧客関連資産、のれん償却等には、顧客関連資産の償却、減損損失を含んでおります。
2. (株)ネットパーク21、つくばソフトウェアエンジニアリング(株)、THAI SOFTWARE ENGINEERING CO.,LTD.は'22.3期、(株)アシック、(株)アイガは'22.9期、シー・アイ・システム(株)は'23.3期で、(株)マリオンは'23.7期で、(株)アダムアップは'23.9期で、(株)SUNシステムズは'23.10期、(株)ラーカイルムは'24.11期、(株)HTCは'25.3期、(株)アイビーシステムは'25.5期、(株)サンライジングコーポレーションは'25.6期の法人税確定申告書等より転記しております。
なお、シー・アイ・システム(株)、(株)マリオン、(株)SUNシステムズは税込会計から税抜会計への修正を行っております。

内部統制、営業・採用等でのシナジー効果を発揮
→今後もますますM&Aによる事業拡大を推進する



最少年齢：**28**歳 最高年齢：**68**歳 40代までの経営者：**51**% 事業責任者総人数：**43**名



■株式会社HTC 代表取締役社長

経営を担う立場として、会社の未来をつくる責任を強く感じています。人が成長できる組織づくりに貢献し、性別や年齢にとらわれず、すべての社員が自らの可能性を広げられる会社を実現したいと考えています。一人ひとりが能力や意欲を生かして挑戦し、責任ある仕事を担える環境づくりに取り組んでいきます。



■マネージャー(キルギス国立大学 理事)

この度、キルギス国立大学の理事に就任いたしました。
これまで、日本で働きたいと願う外国籍の方々の採用を担当してまいりました。私自身、海外生活の経験があり、自国を離れて暮らすことの難しさは身をもって理解しております。
これから日本へ来られる皆様が、少しでも安心して仕事や生活を始められるよう、今後も全力でサポートを続けてまいります。



■部長

営業部に所属し早18年。
エスワイシステムの顔として、日々営業活動を行っています。
沢山の人たちとの出逢いを楽しみつつ、何千・何万とあるシステム会社の中から、唯一無二の存在として選んで戴けるよう、他社にはないサービスや付加価値を営業部だけでなく、システム部と共に追い求め続けています！



■部長代理

現在の役割を通じて、エネルギー分野の事業成長と組織力の向上に貢献していきたいと考えています。性別や立場に関係なく、一人ひとりが自分の強みを活かし、挑戦できる組織を目指します。私自身も挑戦を続け、社員がそれぞれのキャリアを前向きに描くきっかけとなれる存在になりたいです。
最終判断に至るまで、チームに関わるメンバーの意見を広く集めるように心がけています。



ガイドライン制定、シニアの活躍を後押し

65歳
以上

シニア社員活躍ガイドライン 方針

現場で活躍できている社員、会社の事業運営になくてはならない社員は、

- ✓ 年齢に関係なく毎年評価し、報酬を落とさずに継続して働ける
- ✓ ライフスタイルに合わせ、退職金の受取時期を選択できる
- ✓ 引き続き長く社業に貢献していただく



75歳の私が、引き続き活躍の場をいただけることに感謝しています。

外資系コンピュータメーカーで40年、CATVメーカーで10年の営業経験を活かし、若手の活躍を支え企業の発展に貢献できるよう努めています。

シニアのやりがいを感じ、明るく元気にチャレンジ中です。

育児支援



- ✓ 時差出勤制度
- ✓ 時短勤務枠の拡大(中学卒業まで)
- ✓ 希望者の休憩短縮
- ✓ ベビーシッター補助金制度
- ✓ お子様同伴出勤制度
- ✓ 子どもの誕生祝金支給
- ✓ ファミリーサポート休暇

性別・国籍にかかわらず
優秀な人材が成長できる
健全な企業風土を守ります



ライフワーク バランス



- ✓ テレワーク
- ✓ 平均残業時間**13.7時間** ▲1.0時間
- ✓ 有休取得率**72.6%** +2.5
- ✓ 病気休暇制度
- ✓ 年次有休休暇の時間単位取得
- ✓ 奨学金支援制度
- ✓ 時短勤務対象の緩和
- ✓ シニア社員活躍ガイドライン
- ✓ 年間休日日数見直し(124日)

女性管理職 : **25%**
女性経営者 : **10%**
外国籍社員 : **6%**
加ス・ホーダー・ジェンダー社員 : **1%**

**2030年
目標**

障がい者雇用

- ✓ 2022年以降 法定雇用率2.3%達成
- ✓ 障がい者社員からリーダーを育成
- ✓ 特例子会社設立を目指す

福利厚生



- ✓ Benefit Station
- ✓ エクシブ施設利用
- ✓ 従業員持株会(奨励金20%)
- ✓ 確定拠出年金制度(給与DC)
- ✓ 福利厚生賃貸制度

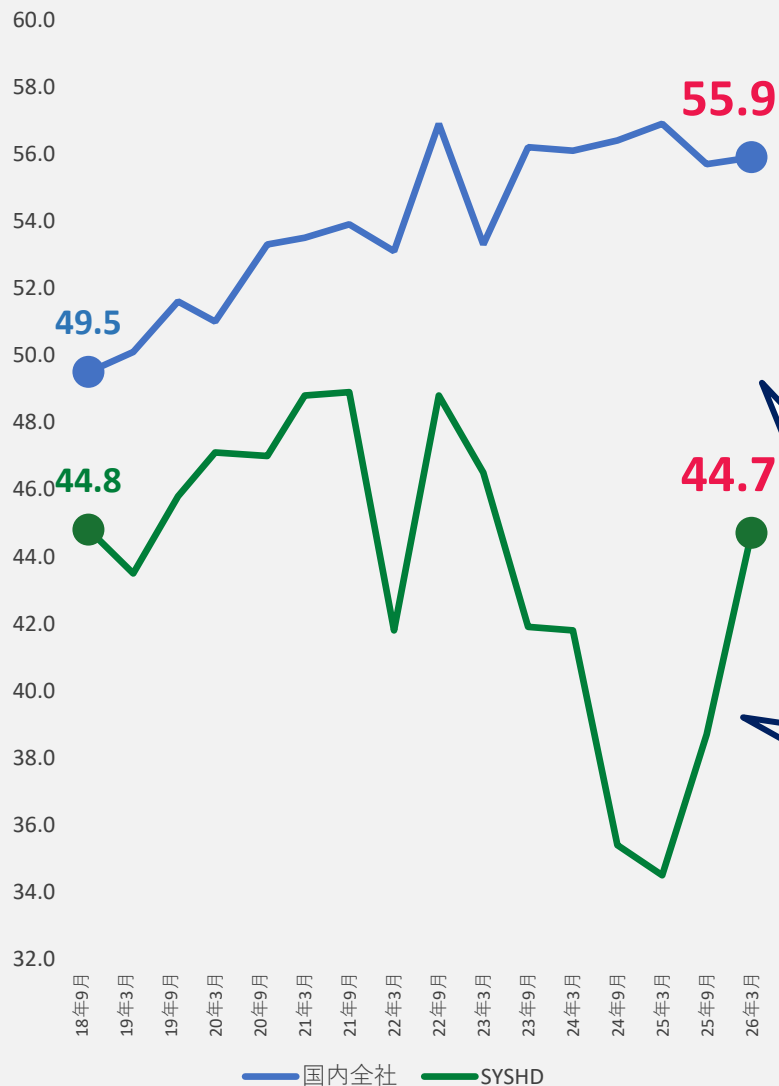
▶ 当期時点の実績

✓ 女性従業員比 : **26.7%**

✓ 女性取締役 : **2名**

※Benefit Stationは株式会社ベネフィット・ワンの商標または登録商標です
※エクシブは、リゾートトラスト株式会社の商標または登録商標です

エンゲージメントスコア（ES）推移



従業員意識と組織課題を可視化

組織力向上のアクションプランを
策定・実行

より働きがいのある組織・職場

エンゲージメント度合いを測る
「エンゲージメントスコア（ES）」は
上昇傾向

新規子会社の追加により平均スコアの低下

M&Aによる業務増加によるES低下が改善
今後も改善課題として継続する

上位子会社

SYI・TSE

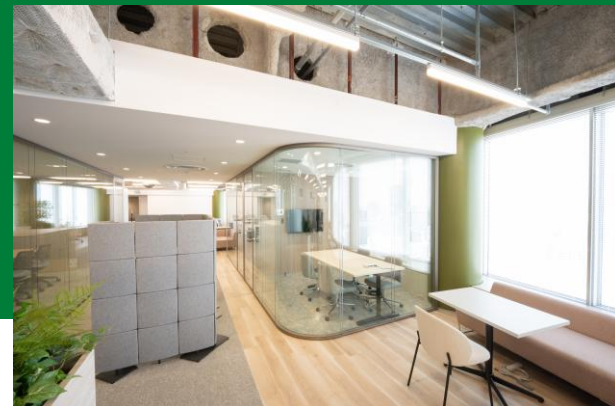
・SSR・TAH[※]

※TSE…つくばソフトウェアエンジニアリング(株)/SSR…(株)総合システムリサーチ/(株)スレッド安堵ハーフ

2026年3月のエンゲージメントレーティング^{※※}
は国内全社：BBBとなりました。

※※(株)リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」による評価であり、BBBは全11段階中上位から5段目のレーティング

東京オフィスに続き名古屋も移転 常に人(採用、BP様、お客様、社員)が集まる新オフィス



寄付だけに留まらない 地域・社会貢献



グループ運動会へ
養護施設ご招待



餅つき大会を主催



盆踊りに参加



清掃活動

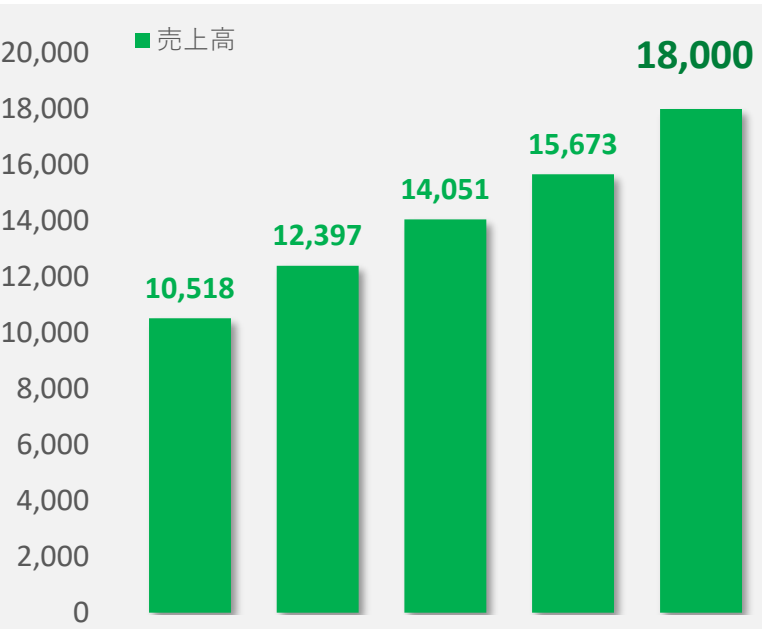
心をこめた地域・社会貢献活動を継続しています





2027年7月期 業績予想

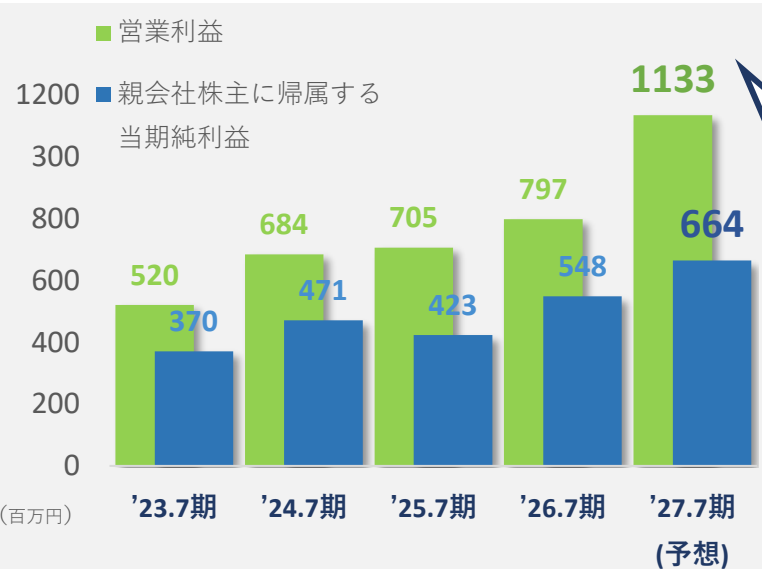
IT
Your
Smile



▶ 当期比と売上比

単位：百万円

	'26.7期	売上比	'27.7期 (予想)	売上比	前期比	
					増減額	増減率
売上高	15,673	-	18,000	-	2,326	14.8%
営業利益	797	5.1%	1,133	6.3%	335	42.1%
経常利益	857	5.5%	1,119	6.2%	261	30.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	548	3.5%	664	3.7%	116	21.2%



▶ 売上

既存事業の成長
不安定な世界情勢にはあるが、
引続き社会情報インフラ関連顧客からの受注好調
グローバル製造業関連顧客の受注も伸長

▶ 利益

毎年着実に営業利益率を向上

SYSTarget2028は計画通りの進捗を目指す



※金額単位：百万円

	'26.7期		'27.7期		'28.7期
	計画	実績	計画	予想	計画
売上高	16,850	15,673	19,200	18,000	22,050
営業利益	1,044	797	1,210	1,133	1,500
経常利益	1,018	857	1,190	1,119	1,480
親会社株主に帰属する 当期純利益	604	548	713	664	920
ROE	15.1%	13.7%	15.5%	14.7%	17.3%

全産業で継続して旺盛なDX需要に応える

世界経済
日本経済

- ・アメリカ関税 ・米中経済分断 ・世界的なインフレ
- ・安全保障の不安 ・日中関係の悪化

情報サービス
産業

総務省「サービス産業動態統計調査2026年6月分」

情報サービス業 売上高合計 **7.7%増**

- ・全産業の人手不足によるDX化の推進は、一層進むと予測
- ・生成AIによる情報サービス産業の大変革→SaaSの死と言われる状況

51か月
連続増加

当社への影響

■生成AIによる業界の変化

- ・ 予算不足のプロジェクトが実現可能となる
- ・ 多言語・多通貨の大規模システム開発が短納期で実現可能となる

- ・ 案件数の増大、案件の大型化
- ・ 中小ソフト会社の苦戦
- ・ SES専門の受注ポジション低下

— 現状 —

変革予測は正確だったが
対応できず

懸念事項

要因：①従業員数純減
②BP様登用計画の不振
③事業会社の業績管理不足

★グループ会社再編
★採用・教育の改革
★プロジェクト管理の改革

採用強化と基準見直しを両立 営業強化とビジネスパートナー様との協業強化

■ 総稼働数の減少

- ✓ 採用者 < 退職者
- ✓ AI時代到来への対応
 - 新卒・外国籍採用は業界に先駆けて抑制
 - 中途採用の基準引き上げ

対策①：求人総件数の底上げ

対策②：ITカレッジ・他社職業訓練校からの採用強化
リファラル採用の強化

対策③：日本語能力を重視した外国人採用

✓ ビジネスパートナー様調達計画の未達

対策①：営業の仕組化(大型化・集団化・新技術への挑戦)

対策②：ビジネスパートナー様懇談会
コアビジネスパートナー様との月次定例会

対策③：終了基準の見直し(継続を前提)

■赤字プロジェクト

▶ 新規プロジェクト受注にも影響

対策①：見積・プロジェクト管理ガイドラインの見直し(AI活用)

対策②：挑戦に処分なし

■事業会社業績不振

対策①：週次改善対策会議

対策②：初の社長解任

対策③：規模で解決できる2社の合併を計画

対策④：営業連携で解決できる2社の孫会社化

グローバル製造業 ソリューション

構成比
37.3%

自動車、重工業、工作機械、鉄鋼、
搬送機等の関連企業

社会情報インフラ・ ソリューション

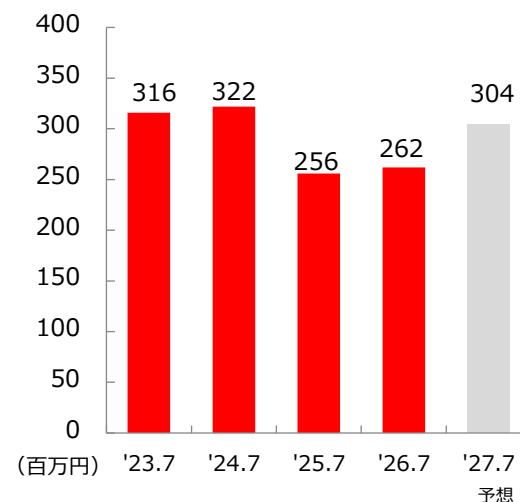
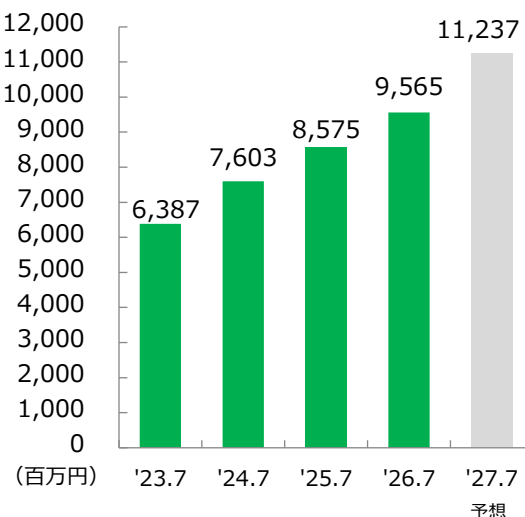
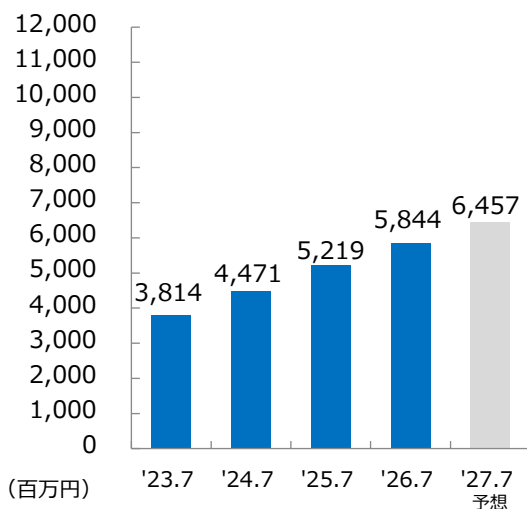
構成比
61.0%

エネルギー、金融、印刷帳票、鉄道、不動産等の関連企業
及び官公庁、自治体等

モバイル・ ソリューション

構成比
1.7%

流通、訪問介護、鉄道、医療、
ロードサービス等の関連企業



通期実績
前期比

12.0% ↑

11.6% ↑

2.6% ↑

通期見込
前期比

10.5% ↑

- ✓ M&Aによる増加
- ✓ 車載ECU(電子制御ユニット)
搬送機関連顧客からの受注増

17.5% ↑

- ✓ 金融関連顧客等の需要のある
顧客からの受注増

16.0% ↑

- ✓ 製品カスタマイズ等の受託開
発受注増

関東圏での事業拡大に注力

関東圏

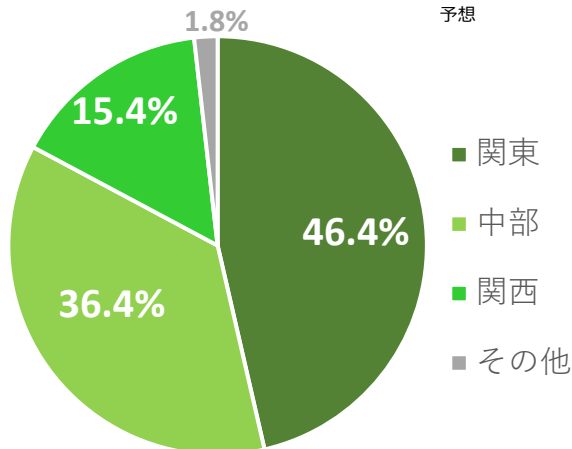
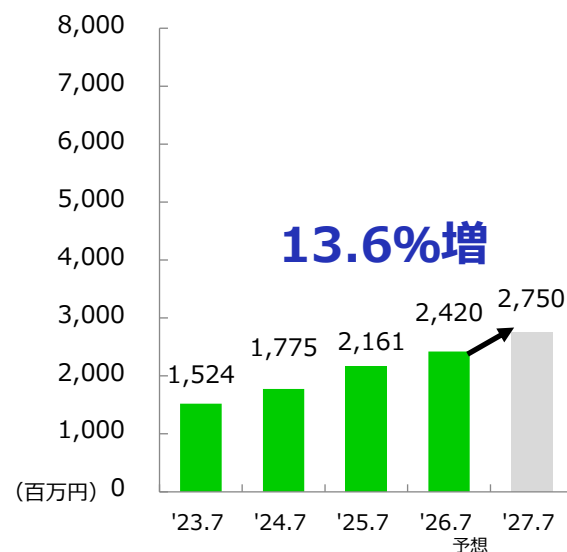
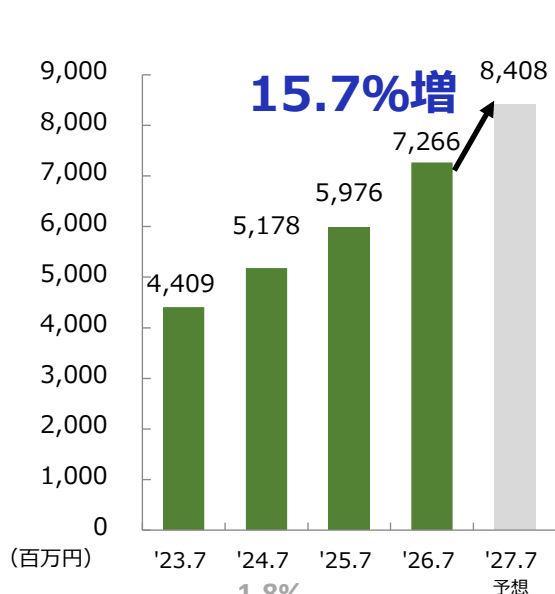
構成比
46.4%

中部圏

構成比
36.4%

関西圏

構成比
15.4%



関東圏での採用実績及び計画

'23.7	'24.7	'25.7	'26.7	'27.7 (計画)
84名	90名	91名	78名	130名

※間接社員含む

(注) すべて監査法人による監査を受けていない参考数値又は、社内管理数値です。
関東圏には新潟を、関西圏には九州を含んでおります。



今後の展開

Global IT
For
Your
Smile

ADAS CASE SDV推進により増加見込 電動化領域はやや鈍化

車載ECU事業領域

モデルベース開発

ワイヤレスキーシステム

カーナビゲーション

オートマチック
トランスミッション

エンジン

エアバッグ

メーター関連

ブレーキ

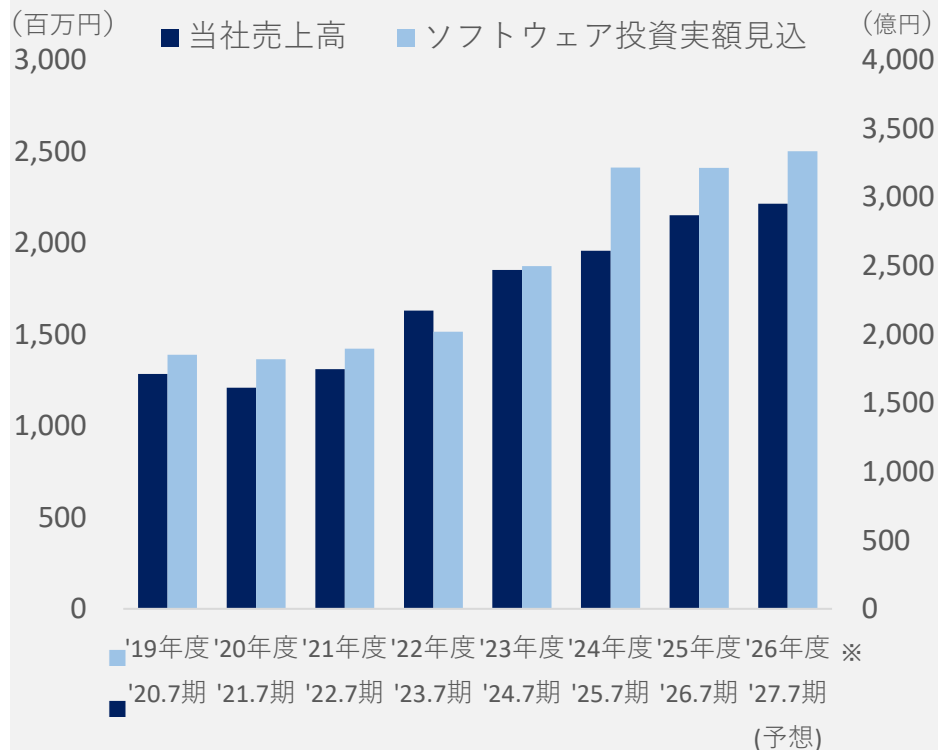
▶研究開発分野

- ・ヘッドアップ
ディスプレイ
- ・コネクテッドカー
- ・プラグイン
ハイブリッドカー

▶信頼性評価試験分野

- ・電波免疫性試験
- ・妨害波測定試験
- ・ドライブ
シミュレーター試験

▶当社車載ECU関連売上高の推移と ソフトウェア投資実額見込



出所：日本銀行「時系列統計データ検索サイト」より当社作成
('26年度以前は実績、'27年度は'26年6月調査より)

※ソフトウェア投資実績見込は3月決算、当社売上高は7月決算

▶前期比3.0%増（見込）

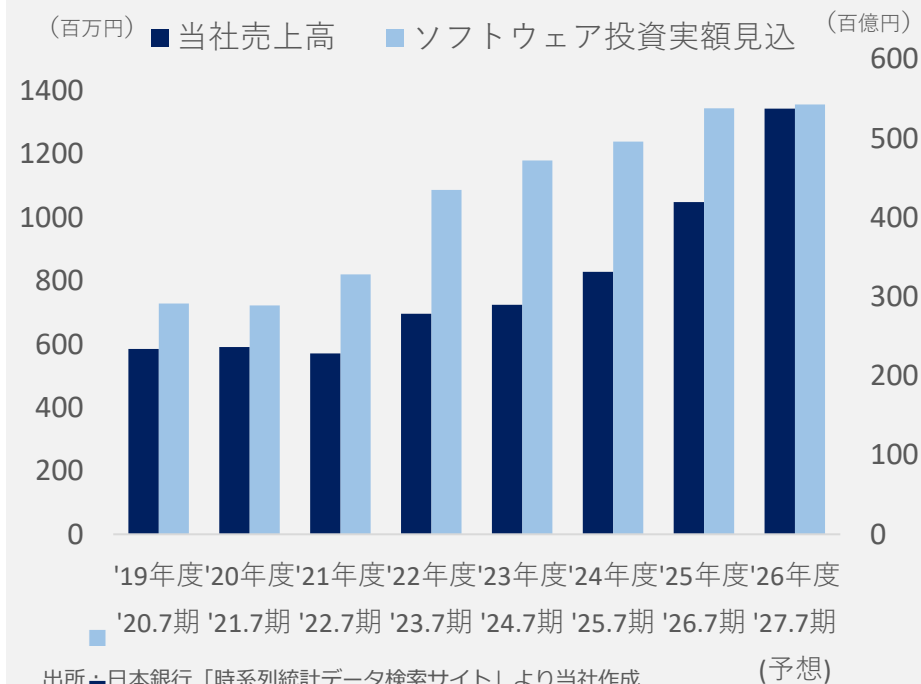
既存領域での顧客の外注化ニーズに応えつつ、
先進領域やBSWへのシフトを進める

物流自動化・省人化需要が堅調に推移 地域・分野ごとの投資動向は二極化

- ▶ 大手搬送機メーカー
- ▶ 大手工作機械メーカー
 - ・ EC、スマホ社会 ・ 長時間労働
 - ・ 世界市場での強み
- ▶ 大手重工業メーカー
- ▶ 大手鉄鋼会社
 - ・ 日本を代表する基幹産業
 - ・ 長期安定的な情報システム投資

**AI・IoTを活用し、
現場の課題解決と
生産性の向上へ**

▶ 当社搬送機・工作機械等関連売上高の推移と ソフトウェア投資実額見込



▶ 前期比22.8%増（見込）

関西・関東の大型案件獲得で伸長
グループ強み技術（DX・AI）活用による高付加価値化が課題

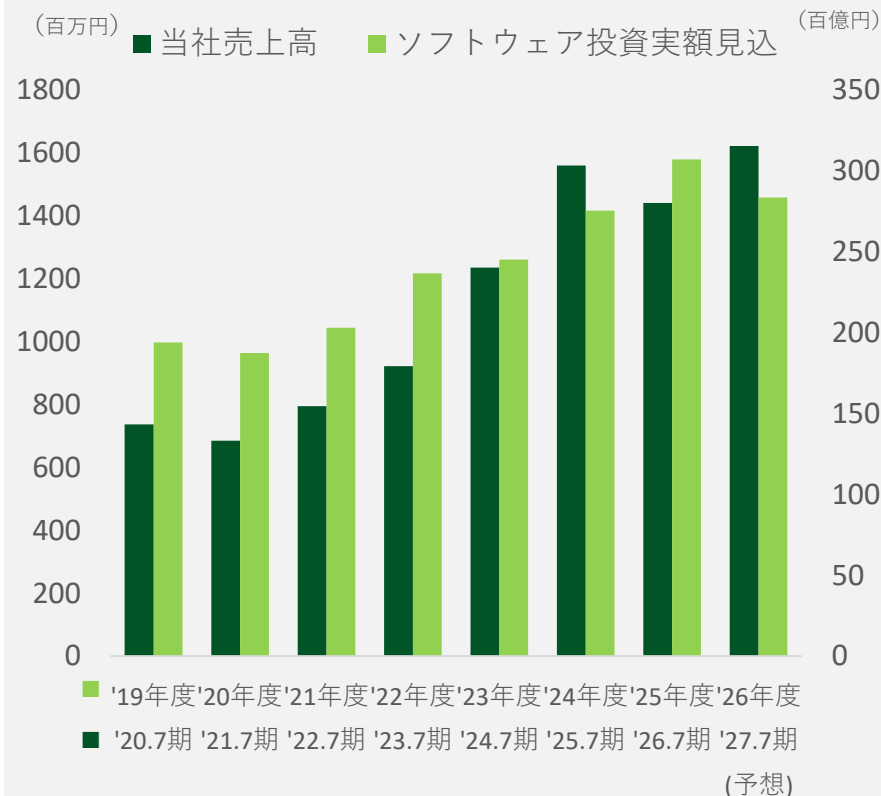
電力分野では送配電関連のシステム構築に需要 金融分野では部署単位でのDX推進にニーズ

- ▶ 大手電力会社グループ
- ▶ 大手電気保安協会
 - ・エネルギー自由化・原発再稼働
 - ・スマートグリッド

AI・IoT・
ビッグデータ
大活用時代の到来で
さらに需要増

- ▶ 大手クレジットカード会社
- ▶ 大手保険会社
 - ・FinTech・RPA
 - ・ウェアラブル

▶ 当社電力・金融関連売上高の推移と ソフトウェア投資実額見込



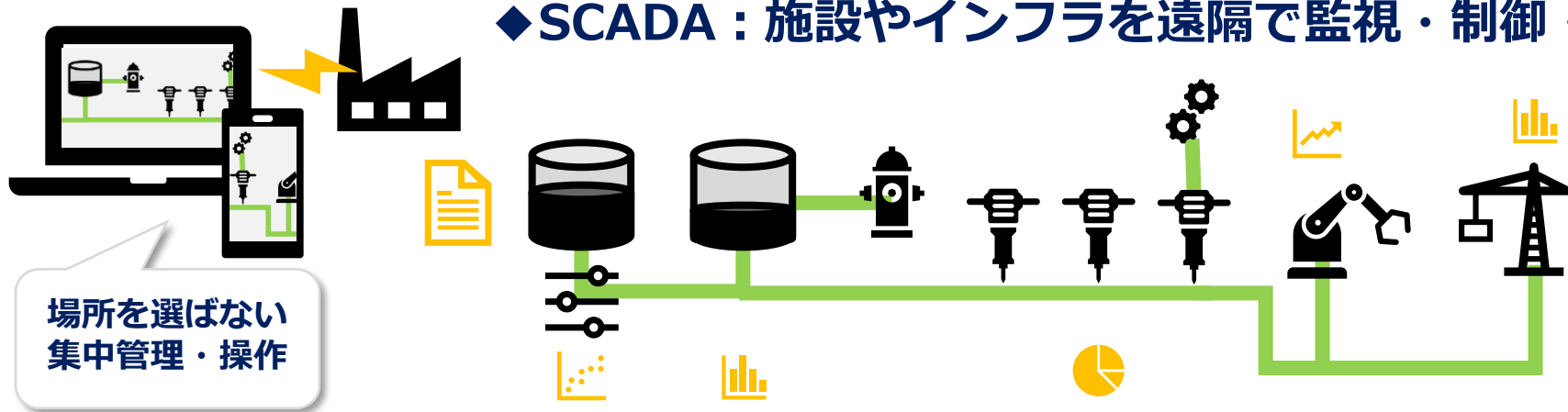
▶ 前期比12.6%増（見込）
引き続き旺盛な需要

Ignition(SCADAソフト) 複数の外資系企業から引き合い継続

※Ignitionは、米国大手ソフトウェア開発会社 Inductive Automation社が開発したソフトウェアです。



◆SCADA：施設やインフラを遠隔で監視・制御・分析



つくばソフトウェアエンジニアリング(株)
公認インテグレータ**Goldライセンス**を取得



(株)テクノフュージョン
公認インテグレータライセンスを取得

累計受注実績：

14社

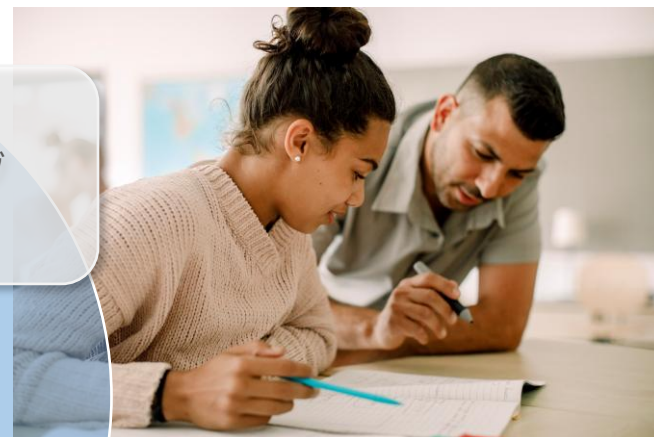
工場設備監視にデータセンター(電力)監視が付加

▶▶**生成AI**を支えるデータセンターの監視案件獲得へ



公共

幅広く失業者をリスキリング



ITカレッジ



IT道場

当社
ISA

IT業界を目指す
意欲ある未経験者を対象に
IT技術とビジネススキルを教育

JOB カレッジ

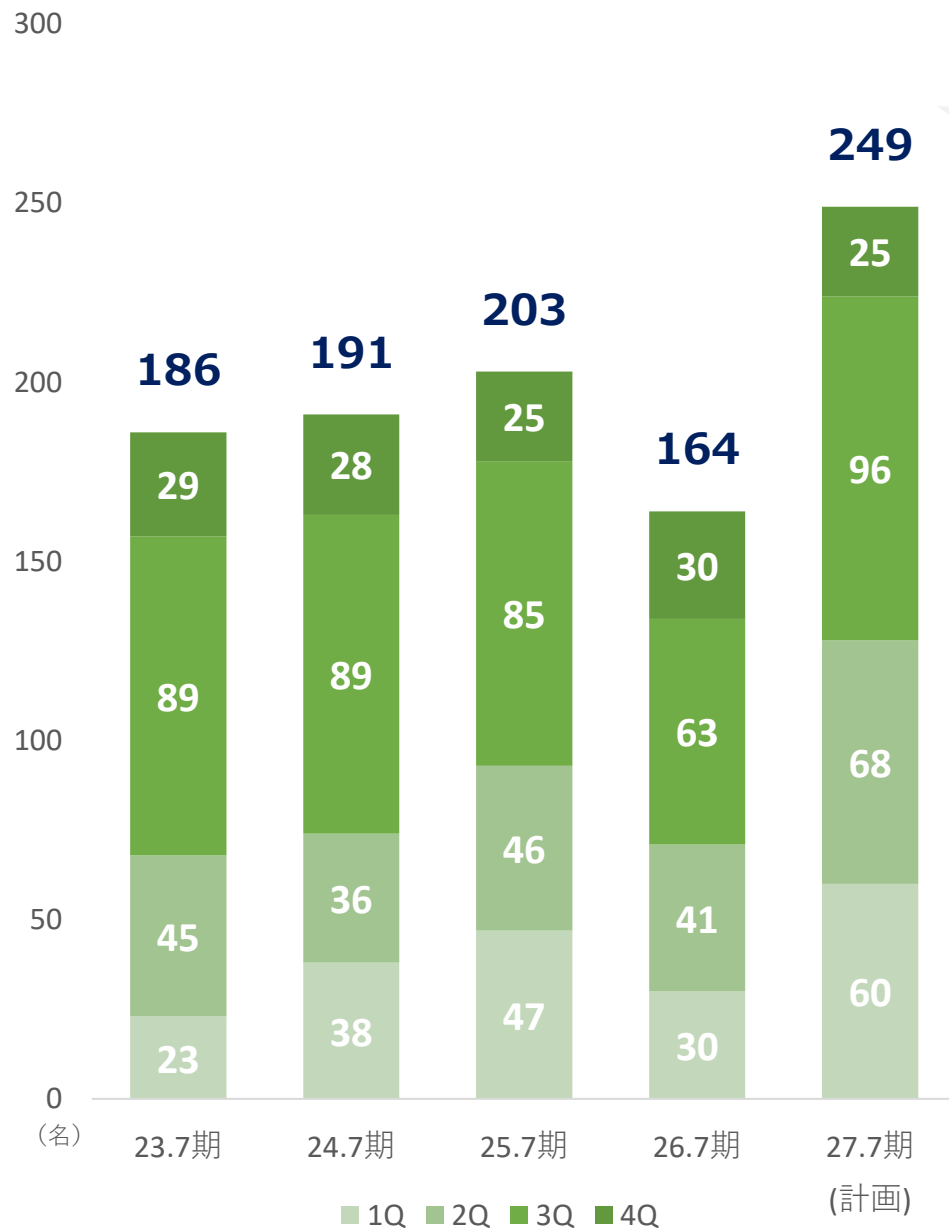


公共

障がい者が健常者と
変わりなく活躍できる
人材を育成

※公共…公共職業訓練事業

採用を抑えてビジネスパートナー様比率向上へ



▶ 2027年7月期採用方針

今後も、経験よりも
能力ある人材の積極採用を
進めています。



- ▶ シニア採用が定着
- ▶ 中途採用での
女性・外国籍社員採用が課題

▶ ビジネスパートナー様登用目標

**2030年
ビジネスパートナー様比率100%**

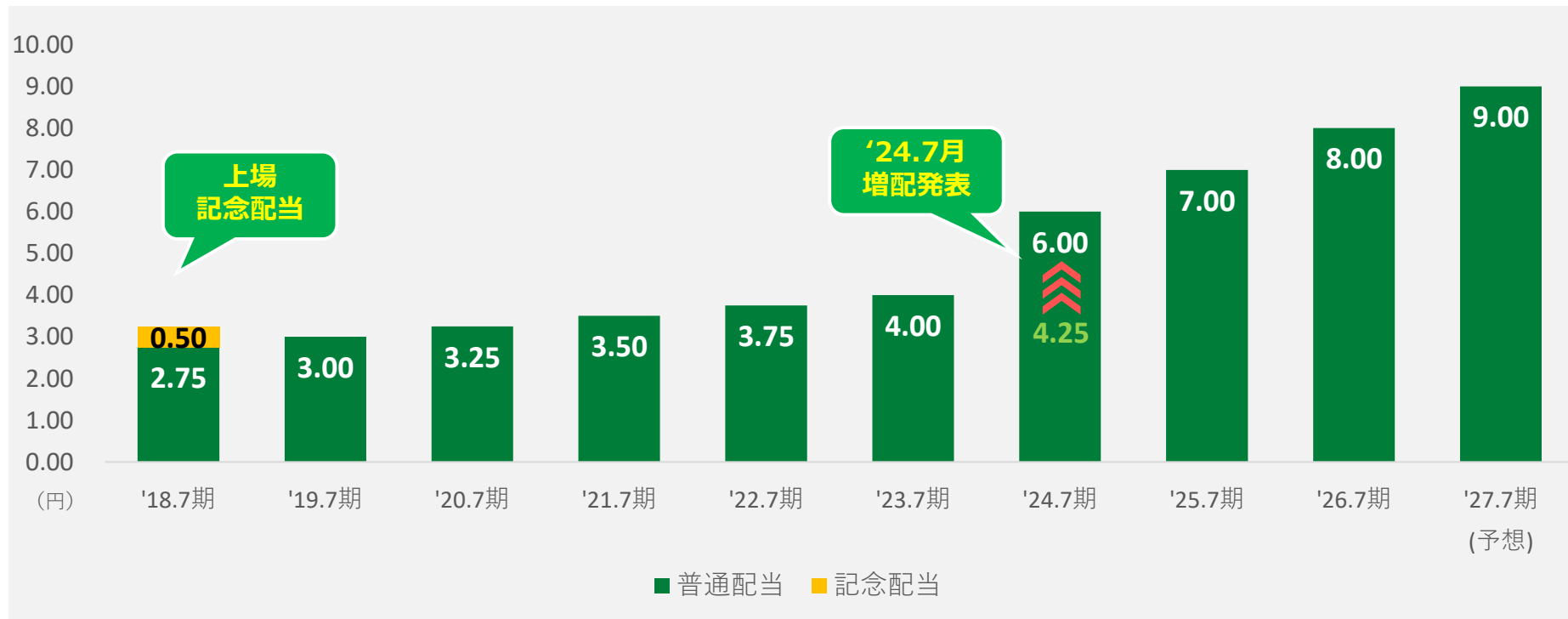
参考：ビジネスパートナー様
2026年7月 347名
(計画)2027年7月 500名

153名増

配当政策

少しずつでも安定的な増配を目指す

	'18.7期	'19.7期	'20.7期	'21.7期	'22.7期	'23.7期	'24.7期	'25.7期	'26.7期	'27.7期 (予想)
1株 当たり 配当金	3.25円 普通配当2.75円 記念配当0.50円	3.00円 普通配当3.00円	3.25円 普通配当3.25円	3.50円 普通配当3.50円	3.75円 普通配当3.75円	4.00円 普通配当4.00円	6.00円 普通配当6.00円	7.00円 普通配当7.00円	8.00円 普通配当8.00円	9.00円 普通配当9.00円



当社は2018年2月1日付、2022年2月1日および2024年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記記載の1株当たり配当金は、分割換算後の数値を記載しております。従いまして、2024年7月期は実質的には普通株式1株につき前期比4円の増配となります。

グローバル情報技術で笑顔を創る 当たり前を突き詰める経営

第13期は**売上高156億、営業利益7.9億円**と
期初予想を下回ったものの、M&Aによる寄与もあり
過去最高の13期連続の増収、8期連続の増益
になりました。

2027年7月期も、事業の拡大を進め、さらなる
増収増益を目指します。

また、中期経営計画『**SYSTarget2028**』に掲げた
2028年年7月期は**売上高220億、営業利益15億円**
の達成を目指してまいります。

2030年300億達成に向けてより一層に事業付加価値を
高め、日本のDX推進に貢献してまいります。

今後もお引き立てのほど、よろしくお願いいたします。



代表取締役会長兼社長 鈴木裕紀

【免責事項】

本資料に記載した内容等は、資料作成時における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。

また、業績見通し及び将来予想についても、資料作成時点において入手可能な情報に基づいた内容であり、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、実際の業績とは異なる場合があります。

投資を行う際には、ご自身の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社SYSホールディングス

IR担当

T E L : 052-937-0209

E-mail : newinfo@syshd.co.jp